

◆◇◆ 子宮筋腫と子宮内膜症の相違点 ◆◇◆

	子宮筋腫	子宮内膜症
増殖因子	女性ホルモン	月経
主症状	過多月経 腹部腫瘤感	月経痛、不妊
その他の症状	腰痛、腹痛、貧血	
好発年齢	30~40歳代	20~40歳代
治療	手術療法	偽閉経療法 手術療法

内膜症の治療は、偽閉経療法といって、お薬で一時的に閉経状態にし、月経を止める治療です。約半年ほど止めて、腹腔内の炎症を抑えます。しかしながら、これは一時的な治療で、治療後数年症状が軽快することもあります。完全に直すには子宮摘出か本当の閉経を待つしかありません。不妊症の原因疾患でもあるため早期の治療、管理が必要です。ただ、妊娠・分娩することが内膜症の治療ともなるので内膜症の方は早く妊娠することが良いと思われます。

子宮筋腫も子宮内膜症も年々、若い方に激増しています。不妊症の増加、少子化の一因となっているのは明らかですので、症状に心当たりの方は早めに産婦人科に受診してください。



● 産婦人科外来 ●
TEL 052-652-5511 (内線：281)



★中部労災病院のホームページで、〈病院の情報〉〈フィリア・レター〉〈ろうさい病院つうしん〉がご覧いただけます。携帯電話からもアクセスできます。どうぞ、ご利用ください。